



- ・同質出隅同士の左右接合部には、必ず『接合部用部材』を使用してください。
- ・下地の断面寸法が足りず、部材が納まらない場合は、下地を追加してください。
- ・使用する同質出隅は設計寸法よりやや大きめを用意してください。

手順

4



## 同質出隅の施工

### 【実接合】

- ▶ 留付金具EX出隅用 (JE552C、JE825C) を使用し、実付同質出隅を取り付ける。

※ポーチ柱の場合は、柱の対角に実付同質出隅を取り付ける。

- ▶ 上記に続けて、内寸を調整し、合いじゃくり加工を施した同質出隅を取り付ける。(図3参照)

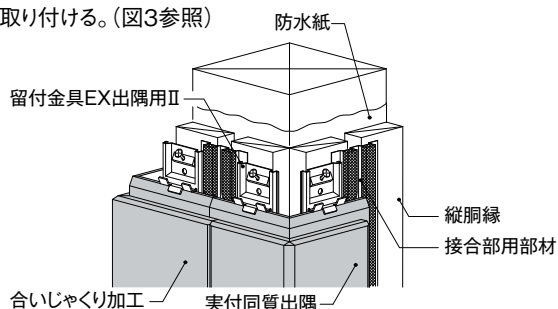


図3 ポーチ柱(実接合)

### 【突き付け接合】

- ▶ 留付金具EX出隅用 (JE552C、JE825C) を使用し、手順3で加工を施した同質出隅を取り付ける。

- ▶ 上記に続けて、加工した同質出隅を隙間ができないように取り付ける。(図4参照)

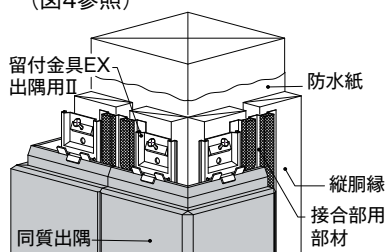


図4 ポーチ柱(突き付け接合)



▲留付金具EX出隅用で同質出隅を取り付ける

※ポーチ柱は手順4で終了です。袖壁部は手順5に続けてください。

手順

5

## モエンの加工(袖壁)

### 【実接合】

- ▶ 躯体の倒れなどを考慮しながらモエンを切断する。  
(左右接合部に隙間ができないよう、出隅端部に合わせて切断)

- ▶ モエン裏面端部(出隅側)に合いじゃくり加工を施す。

- ▶ モエン表面端部(出隅側)にヤスリ等で面取り加工を施す。

- ▶ 面取り加工面・小口・裏面切削部にモエンシーラーを塗布する。  
乾燥後、裏面切削部にはモエンシーラーを、面取り加工面・小口には小口専用補修液を塗布する。

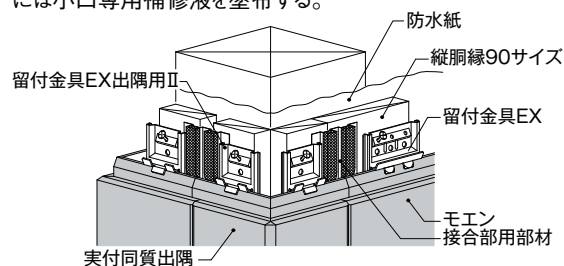


図5 袖壁(実接合)

### 【突き付け接合】

- ▶ 躯体の倒れなどを考慮しながらモエンを切断する。  
(左右接合部に隙間ができないよう、出隅端部に合わせて切断)

- ▶ 切断したモエン表面端部にヤスリ等で面取り加工を施す。

- ▶ 面取り加工面・小口にモエンシーラーを塗布し、乾燥後に小口専用補修液を塗布する。

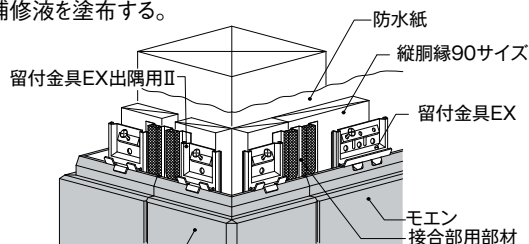


図6 袖壁(突き付け接合)